安井議員（自民議連）

平成 28 年２月 22 日
教 育 長 答 弁 実 録
（ 教 育 委 員 会 ）

（問）グローバルリーダー育成校の位置付け及び果たす役割について

本県教育は，平成１０年に当時の文部省から是正指導を受け，その後，様々な改革・改善に取り組んできた結果，例えば，全国学力テストや体力・運動能力テストにおいて，全国トップ１０に入るまで立ち直ってきたところであるが，急激に改善されてきた本県教育に関する現状は，ここ数年は伸び悩みの状況が続いているなど，少し足踏み状態になっており，目標とする「日本一の教育県」の実現に向けて，新たな手立てが求められている。

グローバルリーダー育成校の設置に向けて，色々な課題もあるが，造るのであれば，日本一の，本当に全国に誇れる，さらには世界に誇れる学校にしてもらいたいと思う。

そこで，今回のグローバルリーダー育成校は，本県教育が目標とする「広島で学んで良かったと思える日本一の教育県」に向け，どのような位置付けで，どのような役割を果たすと考えているのか，教育長に伺う。

（答）

本県の教育は，平成１６年にリーディングスクールとして開校した広島中・高等学校における取組をはじめ，様々な改革・改善に県全体で取り組んだ結果，例えば，学力の状況につきましては，全国平均を上回る水準まで向上するなど，「知・徳・体」のそれぞれの面で，着実に成果が現れてきたところでございます。

一方で，グローバル化が急速に進展する今日の社会を踏まえれば，子供たちに，変化の激しい先行き不透明な社会をたくましく生きていくことができる資質・能力を育成する必要があり，本県の教育は，次のステージへと進むべき時を迎えているのではないかと考えております。

こうした考えに基づき，「広島で学んで良かったと思える日本一の教育県の創造」を目標として掲げ，昨年度策定しました広島版「学びの変革」アクション・プランに基づき，全国に先駆けて，「学び続ける力」の育成に向けた「主体的な学び」の実現に県内全ての学校で取り組んでいるところでございます。

グローバルリーダー育成校は，「学びの変革」を先導的に実践し，目指すべ

きモデルを描いた上で，その成果を，小学校・中学校・高等学校を問わず，また，国・公・私立あるいは県立・市町立という学校の設置者の違いを越えて，全県に広めることにより，県全体の「学びの変革」実現を牽引する学校であり，「新たな日本一，そして世界一の教育県広島」の象徴となる学校であると考えております。